

## 山形県農林水産部指定管理者審査委員会（令和7年度第2回）の概要

### 1 日時

令和7年7月31日（木）15時15分～16時25分

### 2 会場

山形県庁5階 502会議室

### 3 出席委員

小泉 篤 委員長、細江 大樹 委員、田牧 大祐 委員、山田 忍 委員、  
笠井 俊哉 委員、志藤 彰 委員

### 4 公開・非公開の別

非公開と決定

### 5 審査内容及び質疑概要

#### （1）第一次審査（応募資格に関する適格検査）

事務局が事前に申請書類を調査した結果、募集要項に定める書類・資格・要件が備わっている旨を報告。併せて、委員長が各委員に対し、失格事項のうち「審査委員会の委員に個別に接触したとき」に該当しないことについて確認。それらの結果、申請団体は、選定基準に適合しているものとされた。

#### （2）第二次審査（基本事項に関する適格検査、申請団体によるプレゼンテーション、提案内容審査）

第二次審査の方法について了承され、申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、審査を行った。

#### <申請団体との主な質疑応答、意見等>

○特に地方では人の採用が大変な状況になっていると思うが、予定の人員は確保されているということでしょうか。（委員）

●確保はできている。（申請団体）

○施設の管理に関し、クマ・ハチ等による事故防止、コロナ等の感染症対策等についての取組みについて教えてもらいたい。（委員）

●クマやハチ対策については、事前に現場の見回りを行い、安全に配慮してプログラムを実施している。コロナについては、県や市のマニュアルを元に対応していたが、現在は特別な対応はとっていない。（申請団体）

○職員の資格取得状況について、伐木等の業務に係る特別安全講習が予定になっているが、いつごろ対応するのか。（委員）

●来年度、2名受講させる計画。現在、伐木業務については委託等により対応

している。(申請団体)

○森の案内人の育成についてはどのように対応しているのか。(委員)

●案内人の養成は県で実施しており、協会としては案内人が喜んで参加してもらえるような環境づくりに取組んでいる。(申請団体)

○指定管理料以外の独自予算で実施している事業はあるか。(委員)

●他団体との共催・連携事業については、法人の会員費等で実施している。(申請団体)

#### ＜申請者の財務状況について（委員よりコメント）＞

貸借対照表をみると実質的な外部負債はなく、大きな問題はない。収支のバランスについて、大きなマイナスはなく、問題ない。(委員)

### （３）審査の結果

各委員による採点の集計結果について、「適格審査については、全員が全項目の要件を満たしていると採点し、提案内容については、100点満点のところ、平均点が76.1点である」旨を事務局が報告した。(集計結果に対する質問、意見は無し。)

### （４）採決

各委員から、一般社団法人庄内森林保全協会を指定管理者の候補者とすべき者として選定することについて、了承を得た。

#### ＜主な評価点＞

○長年管理してきた実績・経験から特段の問題はないと評価した。

ただ、これまでと違った新たな広報手法や利用者拡大のための事業について、目的やターゲットとする客層などの検討プロセスについても説明があればなおよかった。

○全体的にバランスがとれた申請団体であり、これまでの経験や人員体制の確保状況から問題ないと評価できる。

○利用者のアンケート結果を見るとリピーターが多い。

利用者の声に対応できるよう努力を続けてもらいたい。

○実績、経験に基づく安定した提案内容になっている。一方、新しいところがなかなか見えてこないのも、今後期待したい。また、地域との協力体制が強い点は評価するが、地元企業が参画する取組みが見受けられなかったため、その点を強化すると新たな展開ができるのではないかと。

○地元の高校生等と連携した新たなイベントにも取り組んでおり、十分管理を行っているという評価ができる。

○目標利用者数を年間8万人に設定しているが、最近は7万人を下回る状況であるため、PRや地元との連携など取組んでもらいたい。

以上